

【第二期 しなのきプラン】

目指す人間像

グローバルな視野を持ちながら、ローカルに逞しく生きる自立した18歳

【校長の願い】

山間地域の特色を生かした、地域に根ざした学習を大事に考え、児童が主人公となり、生きる力を育み、地域に信頼され、共に歩む学校

【山村留学制度】

山間地域での学習環境を求めて、首都圏等より転入してくる児童と地元児童とが、共に学び伸びていく学習環境の構築

【学校目標】

豊かに感じ
たくましく生きぬく
大岡の子ども

学校目標のとらえ Plan

- 人のことでも自分のことのように感じられる子ども
- 教育・共育・郷育 豊かな関係を積極的に求める子ども

【保護者・地域の願い】

- 基礎学力をつけてほしい。
- 毎日、楽しく元気に行きたくなる学校。
- 地域の人とふれあい、明るさ、元気を与えてくれる子ども。

【児童の実態】

- 明るく、素直で人なつっこい。
- 学年関係なく遊んだり、学習したりすることができる。
- ・ 自ら課題を発見し、解決していこうとする力がつきつつある。
- ・ 小集団で過ごすため、人間関係が固定化しがちである。

教育推進4つの柱 「かしこく、やさしく、たくましく、ふれあう」

Do

Action

自ら進んで学ぶ子ども（かしこく）

- よく聴き、考えて関わりあう授業づくり
 - ・ 教師主導型の授業から、グループ活動、連学年学習を取り入れた教え合い、学び合う授業へ。
- 学習指導の改善とつける力の定着状況の評価検証
 - ・ 一人1公開、教材研究の充実、ICTの利用、研修・研究会を参加型に企画・工夫する。
 - ・ NRT、全国学力学習状況調査を分析し、朝のドリル、全校パワーアップの時間で補完・補充、個別指導。
 - ・ 「家庭学習の手引き」を利用し、「家で予習・復習をしている」児童の割合を前年度より増やしていく。

よく遊び、粘り強くやりぬく子ども（たくましく）

- 五感と心を働かせた体験活動の充実
 - ・ いっぱい遊ぼう集会（児童会）や縦割り班活動での楽しい遊びを通し、子ども同士の教え学び合う関係づくり。
 - ・ 四季の変化を肌で感じ、全身で自然に触れる活動の工夫。（生活科・若杉の時間で学習、わらわらとの連携、大学生との交流）
- 課題や目標を設定し、やり抜く活動の設定
 - ・ 学期始めや月の始めの全校集会、運動会や音楽会、マラソン大会等の行事において、自分の課題や目標をもち、その実現に向けて粘り強く取り組む。

思いやりのある優しい子ども（やさしく）

- 縦割り活動、異学年交流の充実
 - ・ 気持ちのよいあいさつで、心と心を通い合わせる。
 - ・ 縦割り班活動、なかよし旬間、お花見（くじ引き）給食、仲良し読書・清掃など異学年交流の充実。
- いじめ・不登校対策の推進
 - ・ 児童アンケート、個別相談の時間の確保、しなのきアンケートの実施、人権教育の推進。

大岡の人やものにふれる子ども（ふれあう）

- 信州型コミュニティスクールの推進
 - ・ 地域と連携する「大岡大運動会」。
 - ・ 地域の特色を生かした「大根プロジェクト2019」。「森林体験学習（みどりの少年団活動）」。
 - ・ 地域の達人に学ぶ「クラブ活動」「炭焼き体験」。
 - ・ 地域ボランティアの方々による「読み聞かせ」。
 - ・ お年寄りの方々とふれあう「サロンとの交流」。
- 山村留学制度による都市部児童受け入れの推進
 - ・ 留学生にとって、豊かな自然や特色ある教育過程に触れることになると共に、地元児童にとっても新たな出会いや切磋琢磨の場とする。

研究テーマ 「対象や友と主体的・対話的に関わりあいながら、思考し表現できる、深い学びのあり方」
～子どもの主体的な活動を促し、確かな学力を身につける複式指導の在り方～

【授業改善を進めるための重点的な取り組み】

- ・ 誰にもわかりやすく、安心して参加できる教育環境や学習のルール（授業のユニバーサルデザイン化）をつくるとともに、個々の子どもの困り感や教育的ニーズに寄り添った授業、学級づくりに取り組む。
- ・ 授業に言語活動（聞く、話す、書く）を位置づけ、学年の発達段階に応じた思考・表現力の向上を図る。

【教職員の指導力向上に向けた校内外研修】

- ・ 重点研究会や連学年会においてミニ研修会を位置づけ、教材研究や児童理解を深めることを日常化する。

○ 児童一人一人の居場所があり、互いを認め合える集団づくり

- ・ 教育相談とアンケートを定期的実施し、問題の早期発見・対応に努める。（生徒指導）
- ・ 小中連携プランをもとに、研究授業の相互交流、小中職員合同研修や出前授業を実施し、生きる力につながるための集団づくりや小中の接続のあり方を検討・改善する。（キャリア教育）

学校評価 Check

- ・ 学校評議員会・輝くひじりの会からの意見（年2回）
- ・ 地域、保護者からの意見、アンケートの実施
- ・ 児童による授業評価の実施